

保健

使用教科書	単位数	学年・学級・学科・選択名等
最新保健体育（大修館書店） 最新保健ノート（大修館書店）	1	2年1、2組

1 学習の到達目標

学習の到達目標	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。
----------------	---

2 学習計画

学期	月	単元の学習内容	時数	単元のねらい	評価の観点			評価方法	
					①	②	③		
前期	4	0 オリエンテーション		0 学習の進め方を確認する。	○			・観察	
	5	2 生涯を通じる健康		(1) 生涯にわたって健康を保持増進するには、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりがかかわっていることを理解する。	○	○	○	・観察 ・保健ノート ・プリント	
		(1) 思春期と健康	1						
		(2) 性への関心・欲求と性行動の選択	2						
		(3) 妊娠・出産と健康	2						
	6	(4) 避妊法の選択と人工妊娠中絶	2						
	前期中間考査					○	○	○	・考査
	7	(5) 結婚生活と健康	2	(7) 生涯を通じて健康の保持・増進をするには、保健・医療制度や地域の保健所、保健センター、医療機関などを適切に活用することが重要であることを理解する。	○	○	○	・観察 ・保健ノート ・プリント	
	8	(6) 加齢と健康	1						
	8	(7) 保健サービスとその活用	1						
9	(8) 医療サービスとその活用	2							
前期期末考査					○	○	○	・考査	
後期	10	(9) 健康で安全な社会づくり	2	(1) 人間の生活や産業活動は、自然環境を汚染し健康に影響を及ぼすこともあることを理解する。それらを防ぐには、汚染の防止及び改善の対策をとる必要があることを理解する。	○	○	○	・観察 ・保健ノート ・プリント	
		3 社会生活と健康							
		(1) 大気汚染と健康	1						
		(2) 水質汚濁・土壌汚染と健康	1						
	11	(3) 環境汚染を防ぐ取り組み	2						
	後期中間考査					○	○	○	・考査
	12	(4) ごみの処理と下水道の整備	2	(3) 環境衛生活動は、学校や地域の環境を健康に適したものとすよう基準が設定され、それに基づき行われていることを理解する。また、食品衛生活動は、食品の安全性を確保するよう基準が設定され、それに基づき行われていることを理解する。	○	○	○	・観察 ・保健ノート ・プリント	
1	(5) 食品の安全を守る活動	2							
2	(6) 働くことと健康	2	(6) 労働災害の防止には、作業形態や作業環境の変化に起因する傷害や職業病などを踏まえた適切な健康管理及び安全管理をする必要があることを理解する。						
	(7) 働く人の健康づくり	2							
後期期末考査					○	○	○	・考査	

3 評価等について

項 目	①関心・意欲・態度	②思考・判断	③知識・理解
内 容	現代社会と健康、生涯を通じる健康、社会生活と健康について関心をもち、意欲的に学習に取り組む。	現代社会と健康、生涯を通じる健康、社会生活と健康について、課題の解決を目指して総合的に考え、判断し、それらを表す。	現代社会と健康、生涯を通じる健康、社会生活と健康について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解する。
割 合	30%(点)	20%(点)	50%(点)

評価について

評価	評価点
10	94 ~ 100
9	85 ~ 93
8	75 ~ 84
7	65 ~ 74
6	59 ~ 64
5	52 ~ 58
4	45 ~ 51
3	38 ~ 44
2	30 ~ 37
1	0 ~ 29

学年末評定について

評価	評価点
5	85 ~ 100
4	65 ~ 84
3	45 ~ 64
2	30 ~ 44
1	0 ~ 29

4 履修にあたっての注意事項

- (1) オリエンテーションで確認することを厳守すること。
 - (2) 1単位なので欠課時数には特に注意すること。
 - (3) 毎時間の授業を大切に、授業へ積極的に参加すること。
 - (4) 各考査の日に保健ノートの確認を行うので、プリント、問題を全て行って提出すること。
- ※以上のことを守れないと、未履修となることがあるので注意すること。